

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第23週
(6月2日～6月8日)

* 2014年6月11日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成26(2014)年6月12日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年23週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		20週	21週	22週	23週	年累計	23週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	81	87	94	80	1,588	467	10,390
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢	5				15		43
	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	5	4	57	43	485
	腸チフス					9		19
	パラチフス		1			3		6
四類	E型肝炎		1		2	16	3	64
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	6	1			24	4	350
	エキノコックス症							4
	黄熱							
	オウム病					2		6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						2	15
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2	1	5
	つつが虫病		1			4	7	77
	デング熱	2		3	1	22	1	69
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						4	39	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		20週	21週	22週	23週	年累計	23週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					2		4
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア			1		11		25
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症		1		3	41	24	408
	レプトスピラ症					1		6
	ロッキー山紅斑熱							
2014/6/11集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 80件 肺結核 37件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 31件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 1件、10代 2件、20代 18件、30代 6件、40代 16件、50代 8件、60代 10件、70代 10件、80代 7件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 75件、中国 2件、ブラジル 1件、韓国 1件、不明 1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 4件 患者 3件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO121 VT2 1件、O157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 1件、血清型・毒素型不明 1件、年齢は20代 2件、30代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は接触感染 1件(同居家族)、経口感染 1件(焼肉)、不明 2件であった。60代の事例は第22週に報告された事例(O157 VT1・VT2)の同居家族であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者 2件、年齢は50代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件(猪肉 1件、食品不明 1件)であった。

デング熱 1件 患者、年齢は50代、推定感染地はミャンマーであった。

レジオネラ症 3件 肺炎型 3件、年齢は60代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 2件であった。

※ 第20週該当分として〔三類〕腸管出血性大腸菌感染症 1件(患者、血清型・毒素型O157 VT1、20代、経口感染(魚介類の生食))の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年23週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		20週	21週	22週	23週	年累計	23週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	4	6	3	6	91	14	459
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		2		1	20	4	111
	急性脳炎 *1					17	3	216
	クリプトスポリジウム症					4		9
	クロイツフェルト・ヤコブ病					3	4	70
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	2	1	24	2	113
	後天性免疫不全症候群	5	11	12	11	200	19	595
	ジアルジア症					7	2	30
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2	1	2	2	1	14	2	95
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2					3	1	17
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	9	12	6	6	119	28	977
	先天性風しん症候群					3		8
	梅毒	7	15	14	10	196	32	630
	破傷風					5	3	45
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3	2	24
	風しん	1	2	1		58	2	210
麻しん	1	4	2	1	75	6	368	
2014/6/11集計								

*1 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びびリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 6件 病型は腸管 5件、腸管及び腸管外 1件、年齢は30代 2件、40代 2件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 4件、インドネシア 1件、タイ 1件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 2件、異性間 1件)、経口感染 2件(海外での生食 1件、食品不明 1件)、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴なしであった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 A群、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。患者は死亡が確認された。

後天性免疫不全症候群 11件 無症状病原体保有者 10件、その他 1件、年齢は10代 1件、20代 4件、30代 2件、40代 4件、推定感染地は国内 9件、米国 1件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 10件(同性間 5件、異性間 4件、性別不明 1件)、不明 1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

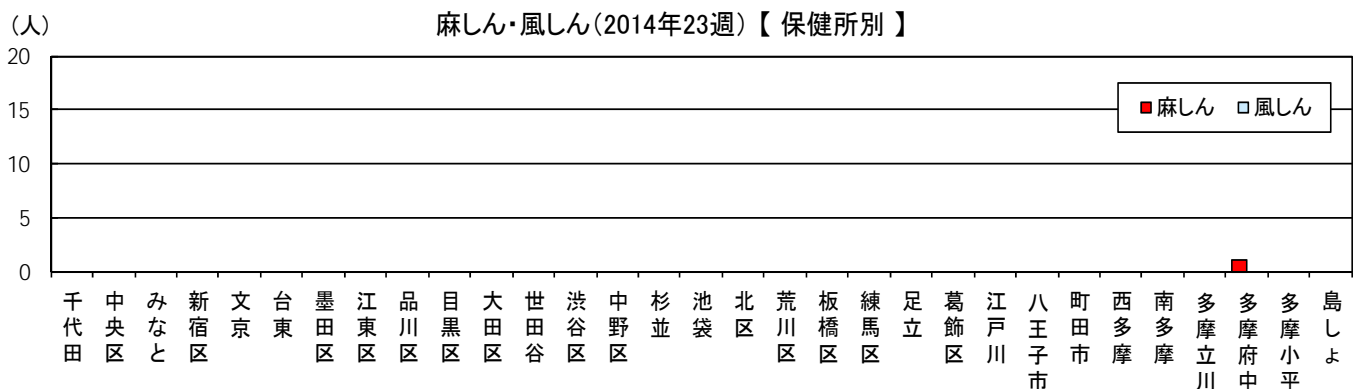
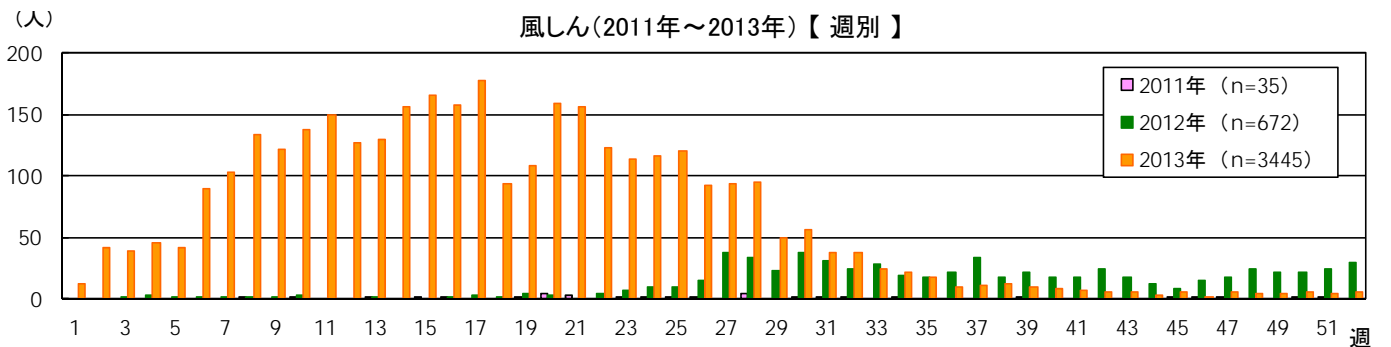
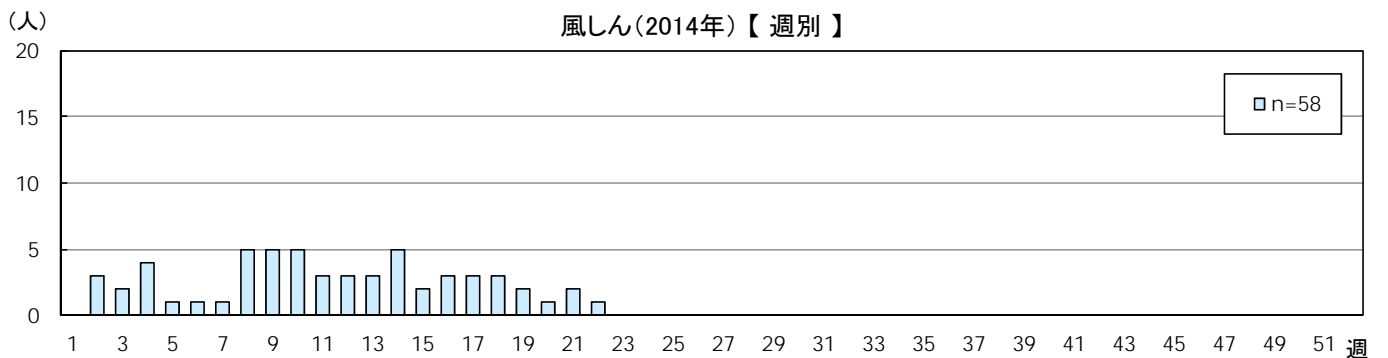
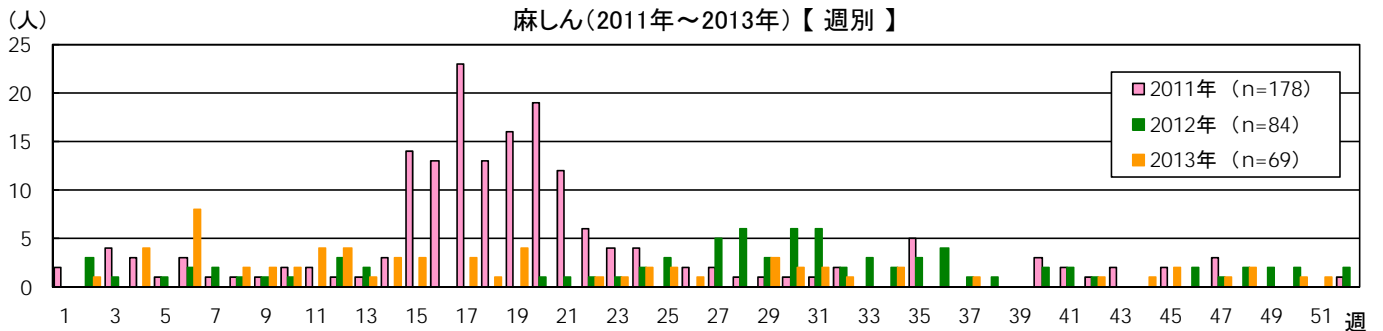
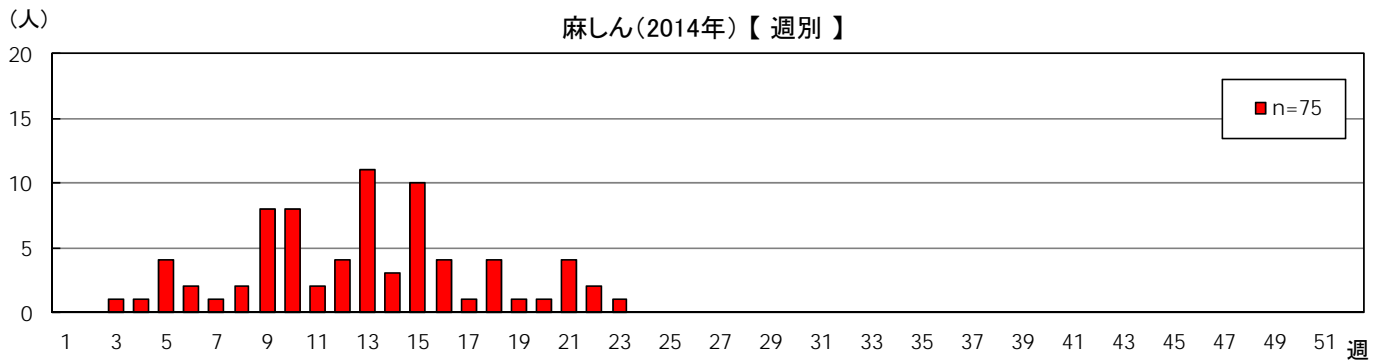
侵襲性肺炎球菌感染症 6件 血清型は未実施 6件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、40代 2件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 3件、肺炎球菌ワクチン接種歴は7価 2回接種済み 1件、7価 1回接種済み 1件、接種歴不明 2件、接種なし 2件であった。

梅毒 10件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 2件、晩期顕症梅毒 2件、無症候梅毒 5件、年齢は10代 1件、20代 3件、30代 1件、40代 4件、50代 1件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 3件、異性間 5件、性別不明 1件)、不明 1件であった。

麻しん 1件 検査診断例(遺伝子型D8)、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、麻しん含有ワクチン接種歴なし、第21週に報告された事例(D8型)の同級生であった。

※ 第14週該当分として〔五類〕麻しん 1件(修飾麻しん、遺伝子型判定不能、40代、麻しん含有ワクチン1回接種済み)の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年23週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		20週	21週	22週	23週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	30	16	21	20	0.08	262	264
	咽頭結膜熱	134	144	188	233	0.89		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	828	893	961	778	2.97		
	感染性胃腸炎	1,989	1,933	1,801	1,627	6.21		
	水痘	292	324	307	370	1.41		
	手足口病	25	61	59	69	0.26		
	伝染性紅斑	97	98	103	90	0.34		
	突発性発しん	196	195	221	246	0.94		
	百日咳	5		3	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	27	29	54	108	0.41		
	流行性耳下腺炎	49	58	61	94	0.36		
	川崎病 *1		4	8	3	0.01		
	不明発しん症 *1	21	19	26	21	0.08		
インフルエンザ	インフルエンザ *2	104	49	37	8	0.02	410	419
眼科	急性出血性結膜炎						39	39
	流行性角結膜炎	25	22	26	15	0.38		
基幹	細菌性髄膜炎 *3		2				25	25
	無菌性髄膜炎		2	1	3	0.12		
	マイコプラズマ肺炎	3	3	2	5	0.20		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	8	6	5				
	インフルエンザ入院	1		1				

2014/6/11集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、昨年を上回る状態が続いている。
- ・ 咽頭結膜熱、突発性発しんの定点当たり報告数は増加し、昨年同時期の報告数を超えた。

(定点医療機関からのコメント)

みなと

- ・ 感染性胃腸炎15名中、ロタウイルス陽性3名(ワクチン接種済 1名、ワクチン未接種 2名)

墨田区

- ・ アデノウイルス咽頭炎または扁桃炎 4名(保育園での流行もあります)
- ・ 病原性大腸菌 O25 1名

世田谷

- ・ アデノウイルス 2名
- ・ インフルエンザウイルスA型 1名(シンガポールからの一時帰国者)
- ・ ロタウイルス腸炎 1名
- ・ マイコプラズマ感染症 4名
- ・ ヒトメタニューモウイルス 6名

池袋

- ・ ヒトメタニューモウイルス 5名

荒川区

- ・ アデノウイルス咽頭炎 9名(アデノウイルス感染症が流行しています)、ヒトメタニューモウイルス 4名、サルモネラ腸炎 1名、病原性大腸菌 O25 1名
- ・ 病原性大腸菌 O1 2名、クロストリジウム-ディフィシル 1名、カンピロバクター 1名

板橋区

- ・ カンピロバクター 2名、病原性大腸菌 O1 2名

八王子市

- ・ アデノウイルス咽頭炎 3名
- ・ アデノウイルス 3名
- ・ アデノウイルス咽頭炎 7名、アデノウイルス胃腸炎 1名

南多摩

- ・ ヒトメタニューモウイルス 1名

多摩小平

- ・ 病原性大腸菌 15名、アデノウイルス腸炎 3名、ヒトメタニューモウイルス 3名

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年23週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	5	1		14	6	1		3	1	2	
6～11か月	6	22	2	140	9	5	2	95		14	1
1歳	7	77	22	210	33	22	3	122		37	
2歳		31	35	146	34	14	10	19		26	2
3歳	2	35	80	160	65	6	16	5		10	10
4歳		31	132	181	70	10	15	1		7	12
5歳		17	112	148	68	4	13	1		6	17
6歳		3	98	94	32	6	8			4	10
7歳		2	82	88	26	1	8			1	19
8歳		6	53	74	6		4			1	10
9歳		1	48	67	9		6				4
10～14歳		5	66	122	9		3		1		7
15～19歳			1	27							
20～29歳		2	47	156	3		2				2
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	20	233	778	1,627	370	69	90	246	2	108	94
先週比	-1	45	-183	-174	63	10	-13	25	-1	54	33

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月							2				
6～11か月		1									
1歳	1	8						1			
2歳	1	4	1								
3歳		2			1			1			
4歳		2	1		1						
5歳		2									
6歳							1				
7歳		1	1								
8歳											
9歳	1										
10～14歳		1	1		2			1			
15～19歳								1			
20～29歳					2						
30～39歳			1		3						
40～49歳			1		3						
50～59歳			2		1			1			
60～69歳					2						
70～79歳											
80歳以上											
合計	3	21	8		15		3	5			
先週比	-5	-5	-29		-11		2	3		-5	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年23週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	0.33	0.67		2.00	0.33						
中央区		1.33	1.00	5.33			1.00	1.00			
みなと		1.50	0.67	5.67	1.50		0.17	0.33	0.17		0.17
新宿区	0.38	0.75	1.50	4.00	0.50			0.25	0.13		1.38
文京		1.50	3.50	2.25	0.50	0.25	1.00	1.00			
台東	0.50	0.50	1.50	8.25				1.25			
墨田区	0.20	1.00	1.20	3.80	1.40	0.20		1.80		0.20	0.20
江東区	0.33	1.33	3.00	12.11	2.11	0.22	0.11	1.78		0.11	0.78
品川区		0.50	2.13	5.00	0.50	0.38	0.25	0.63		0.88	
目黒区	0.20	0.40	3.80	4.20	0.20		0.40	0.60		0.20	
大田区	0.08	3.00	3.15	7.77	1.85	0.08	0.54	1.31		0.23	0.08
世田谷		0.25	3.69	5.31	2.13	0.31	0.94	1.19		0.38	0.13
渋谷区		0.25	1.25	2.50	2.75			0.50			
中野区		4.14	2.14	4.57	0.14			1.14			0.43
杉並		0.10	1.70	4.30	0.50			0.30			
池袋		1.00	0.80	2.60		0.20					
北区		0.57	1.29	5.57	0.57	0.14	0.14	0.71			0.29
荒川区		1.00	3.25	6.00	0.50			0.75			0.25
板橋区		0.40	1.30	2.50	0.60	0.10		0.80		0.30	1.90
練馬区		0.92	3.08	5.31	2.00	0.15		0.77		1.00	0.69
足立	0.08	0.46	4.46	5.85	2.54	0.38	0.08	0.69		0.08	0.15
葛飾区	0.13		2.25	5.25	1.88	0.38		0.38		0.88	0.38
江戸川		0.75	1.83	6.58	1.83	0.33	0.17	1.50		1.67	0.75
八王子市	0.36	1.00	7.09	14.91	2.91	0.18	0.91	1.64		0.27	0.36
町田市		0.50	6.38	11.13	2.13	2.88	1.00	0.75		1.75	0.25
西多摩		0.50	2.25	4.38	1.63	0.38	0.38			0.25	0.63
南多摩		0.78	3.33	6.22	2.67	0.44	0.11	1.44		1.00	0.33
多摩立川		0.14	4.50	5.36	0.86	0.21	0.50	1.07		0.14	0.14
多摩府中		0.53	2.42	8.11	1.16	0.11	0.32	1.05		0.05	0.26
多摩小平	0.13	1.67	4.60	6.47	1.33	0.13	1.07	1.33		0.93	0.13
島しょ			1.00								
東京都	0.08	0.89	2.97	6.21	1.41	0.26	0.34	0.94	0.01	0.41	0.36

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区					1.00						
みなと			0.11								
新宿区											
文京					4.00						
台東											
墨田区		0.40									
江東区											
品川区		0.13	0.17								
目黒区		0.40									
大田区	0.08	0.15			0.50						
世田谷	0.06	0.13	0.04				1.50				
渋谷区					1.00						
中野区											
杉並											
池袋											
北区											
荒川区											
板橋区			0.06								
練馬区											
足立		0.08									
葛飾区			0.08					1.00			
江戸川		0.08			0.50						
八王子市		0.36									
町田市		0.25									
西多摩								1.00			
南多摩	0.11										
多摩立川		0.07									
多摩府中		0.16	0.03								
多摩小平			0.04		3.50			1.50			
島しょ											

東京都	0.01	0.08	0.02		0.38		0.12	0.20			
-----	------	------	------	--	------	--	------	------	--	--	--

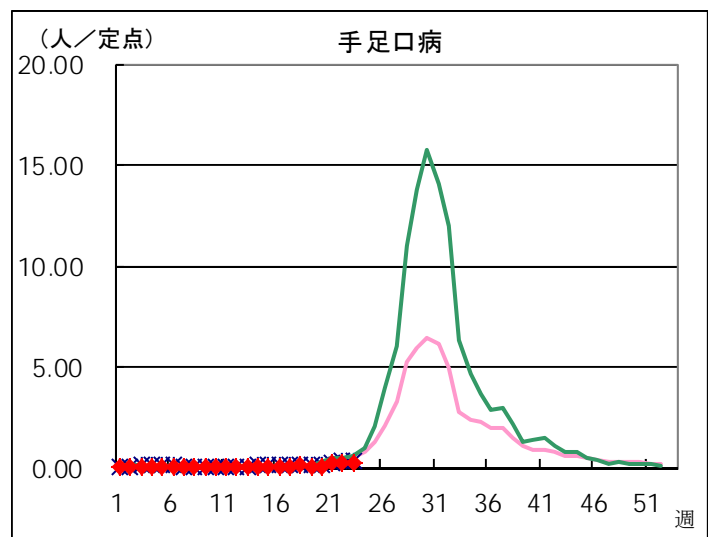
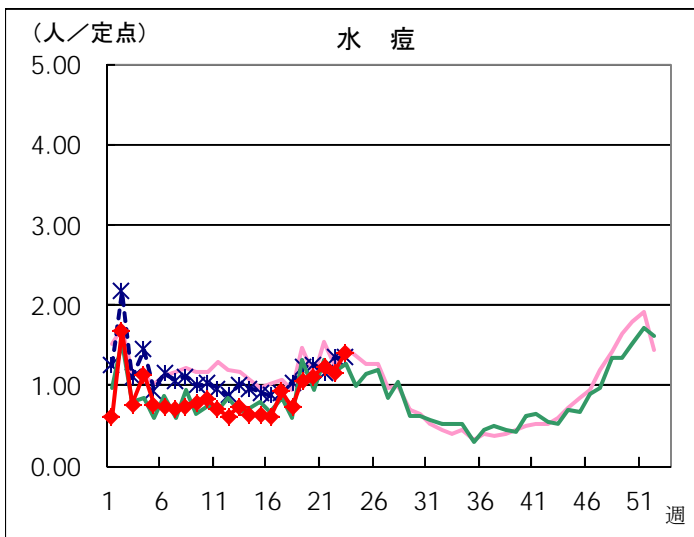
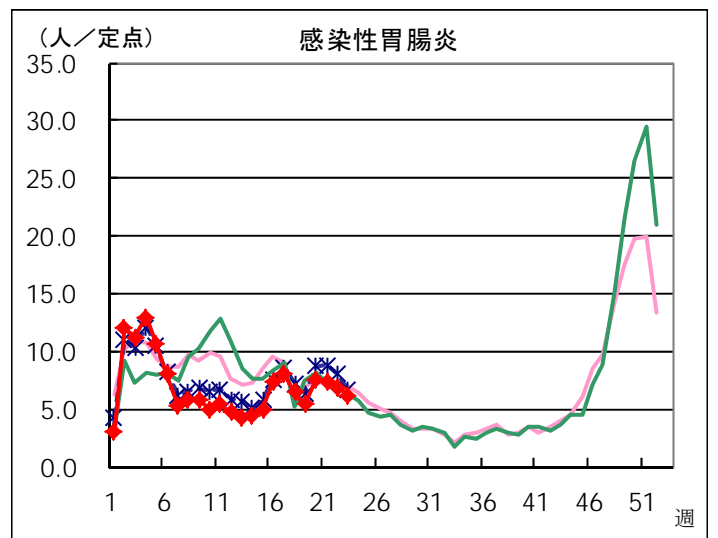
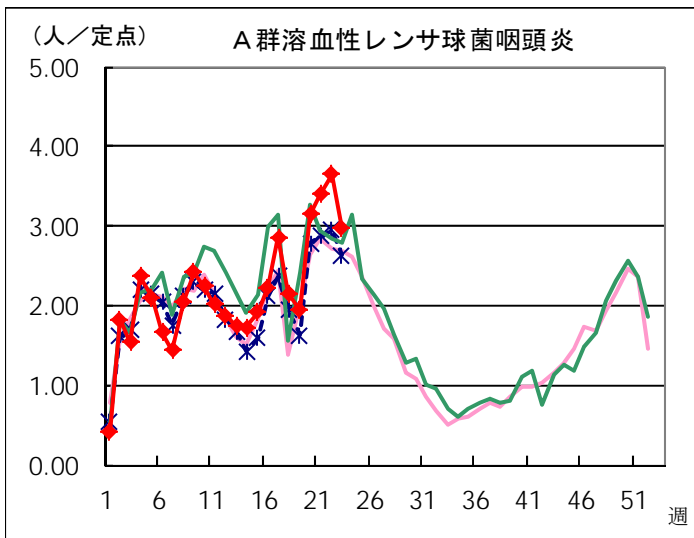
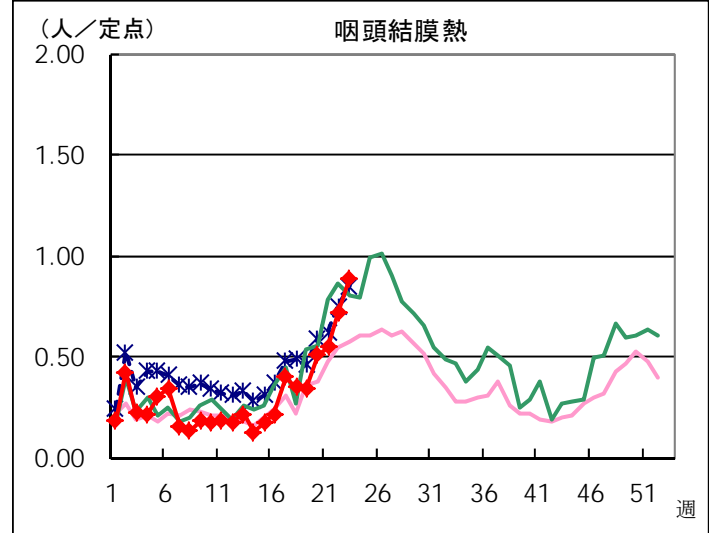
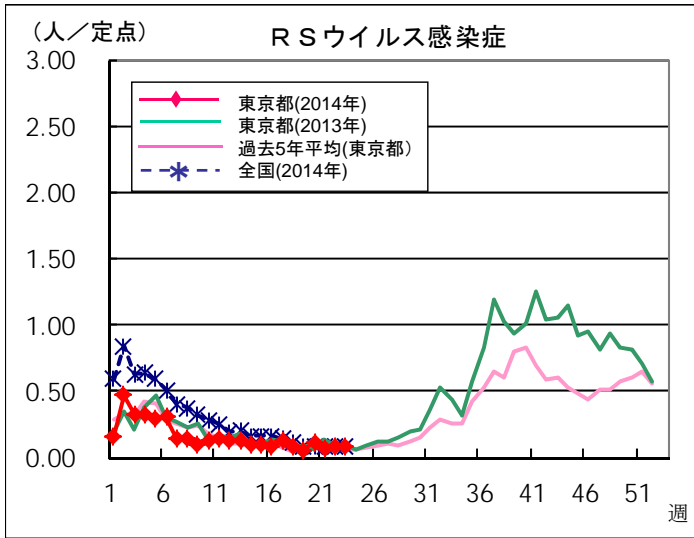
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年23週

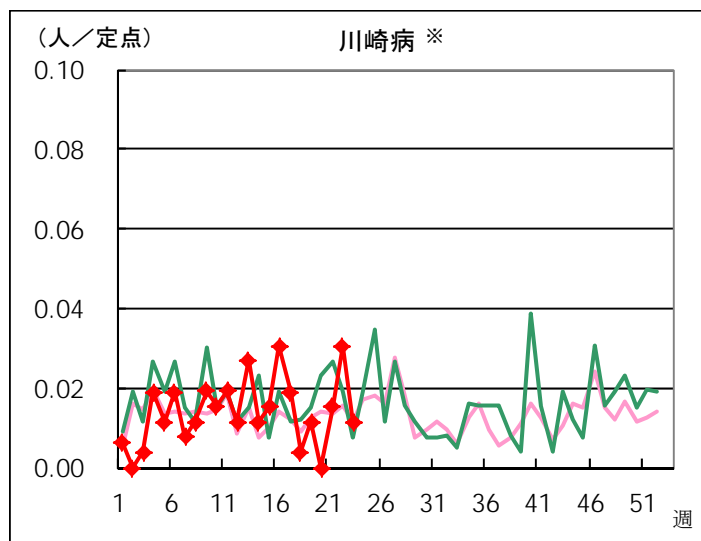
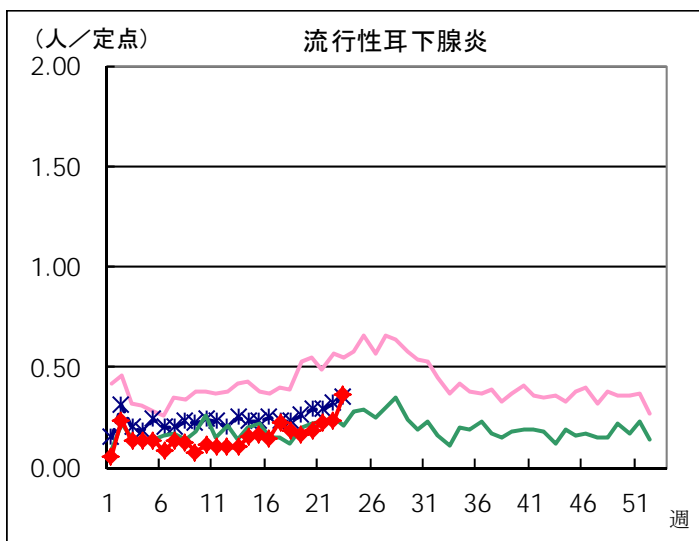
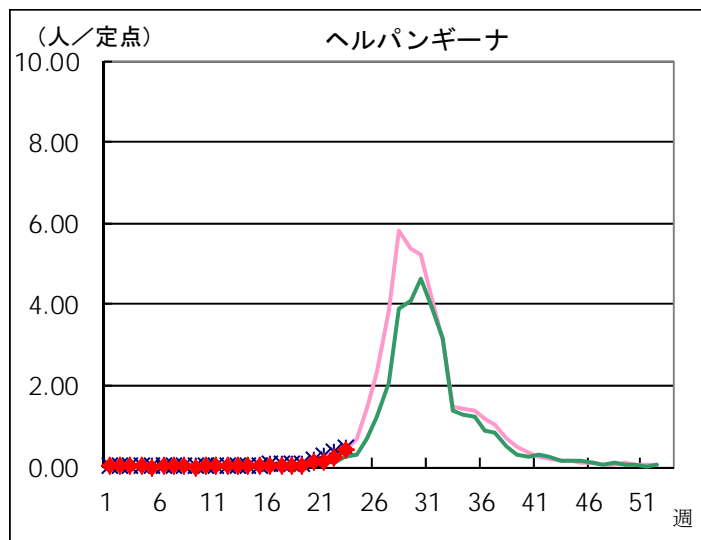
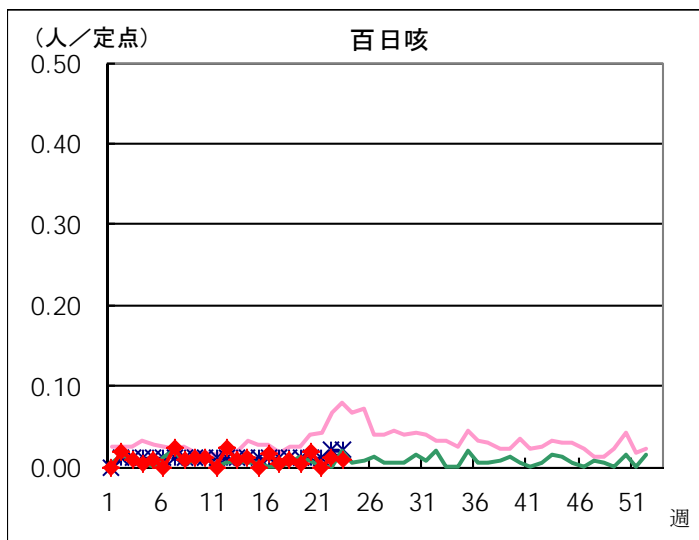
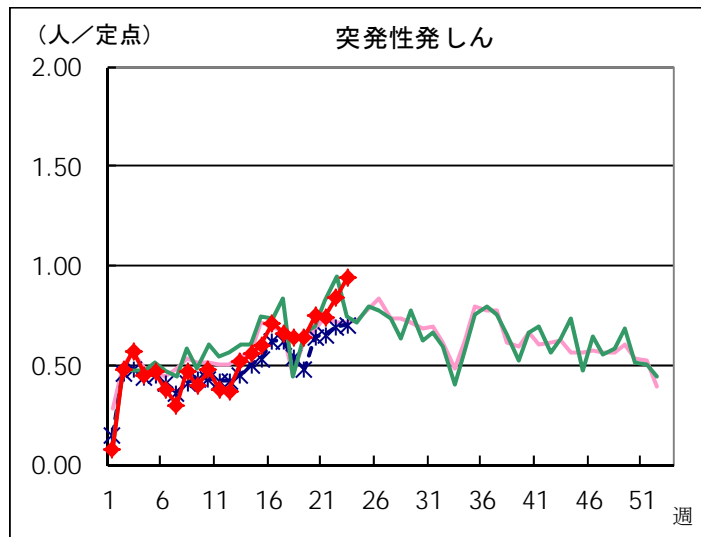
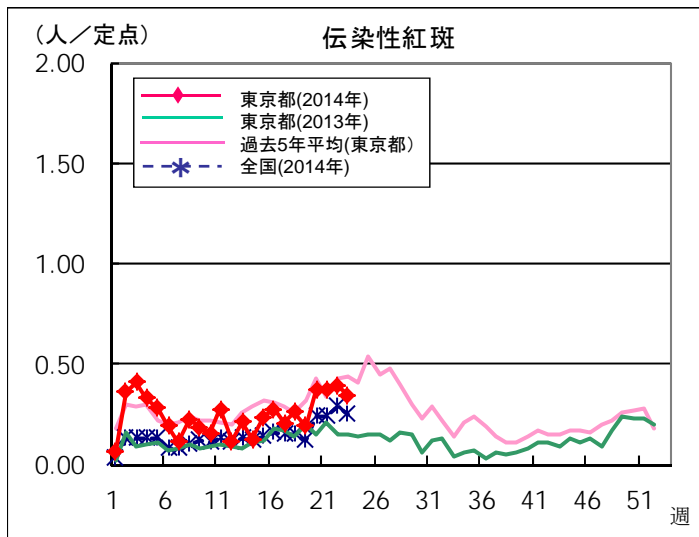
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	1	2		6	1						
中央区		4	3	16			3	3			
みなと		9	4	34	9		1	2	1		1
新宿区	3	6	12	32	4			2	1		11
文京		6	14	9	2	1	4	4			
台東	2	2	6	33				5			
墨田区	1	5	6	19	7	1		9		1	1
江東区	3	12	27	109	19	2	1	16		1	7
品川区		4	17	40	4	3	2	5		7	
目黒区	1	2	19	21	1		2	3		1	
大田区	1	39	41	101	24	1	7	17		3	1
世田谷		4	59	85	34	5	15	19		6	2
渋谷区		1	5	10	11			2			
中野区		29	15	32	1			8			3
杉並		1	17	43	5			3			
池袋		5	4	13		1					
北区		4	9	39	4	1	1	5			2
荒川区		4	13	24	2			3			1
板橋区		4	13	25	6	1		8		3	19
練馬区		12	40	69	26	2		10		13	9
足立	1	6	58	76	33	5	1	9		1	2
葛飾区	1		18	42	15	3		3		7	3
江戸川		9	22	79	22	4	2	18		20	9
八王子市	4	11	78	164	32	2	10	18		3	4
町田市		4	51	89	17	23	8	6		14	2
西多摩		4	18	35	13	3	3			2	5
南多摩		7	30	56	24	4	1	13		9	3
多摩立川		2	63	75	12	3	7	15		2	2
多摩府中		10	46	154	22	2	6	20		1	5
多摩小平	2	25	69	97	20	2	16	20		14	2
島しょ			1								
東京都合計	20	233	778	1,627	370	69	90	246	2	108	94

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田											
中央区					1						
みなと			1								
新宿区											
文京					4						
台東											
墨田区		2									
江東区											
品川区		1	2								
目黒区		2									
大田区	1	2			1						
世田谷	1	2	1				3				
渋谷区					1						
中野区											
杉並											
池袋											
北区											
荒川区											
板橋区			1								
練馬区											
足立		1									
葛飾区			1					1			
江戸川		1			1						
八王子市		4									
町田市		2									
西多摩								1			
南多摩	1										
多摩立川		1									
多摩府中		3	1								
多摩小平			1		7			3			
島しょ											
東京都合計	3	21	8		15		3	5			

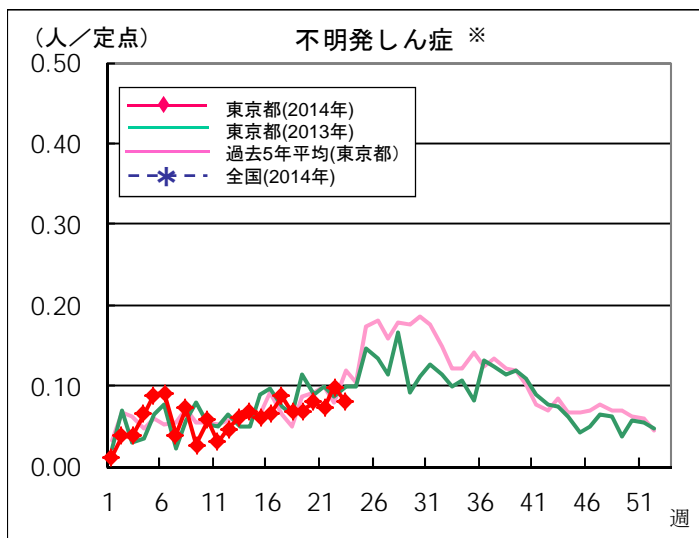
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年23週 現在)

◆ 小児科定点



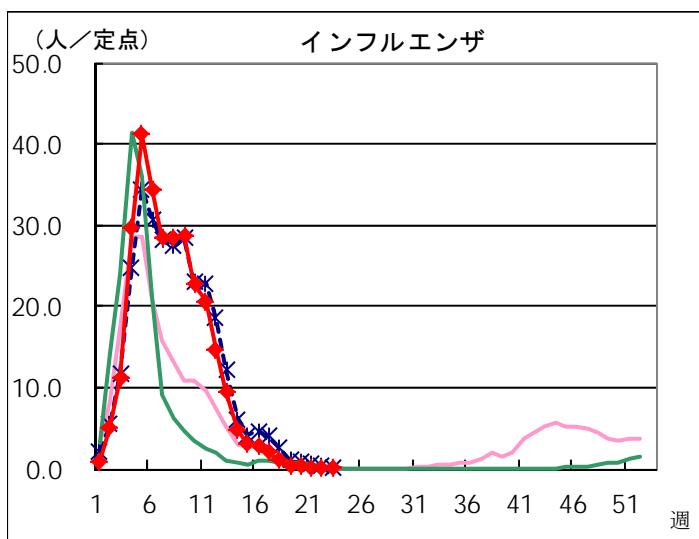


※ 東京都独自対象疾患

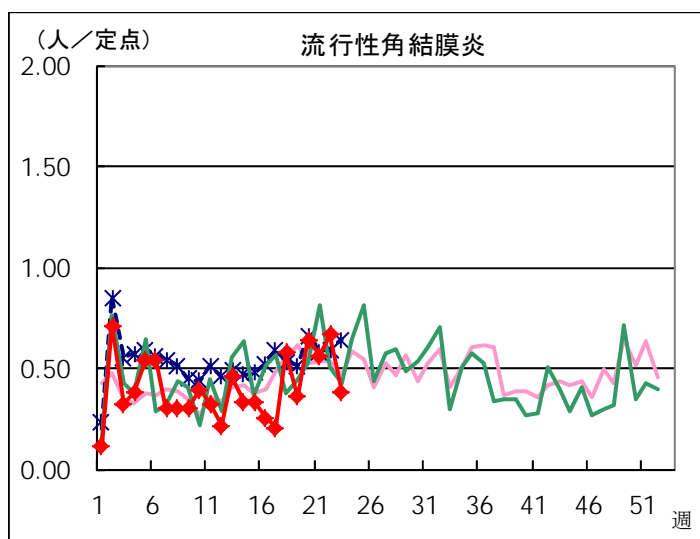
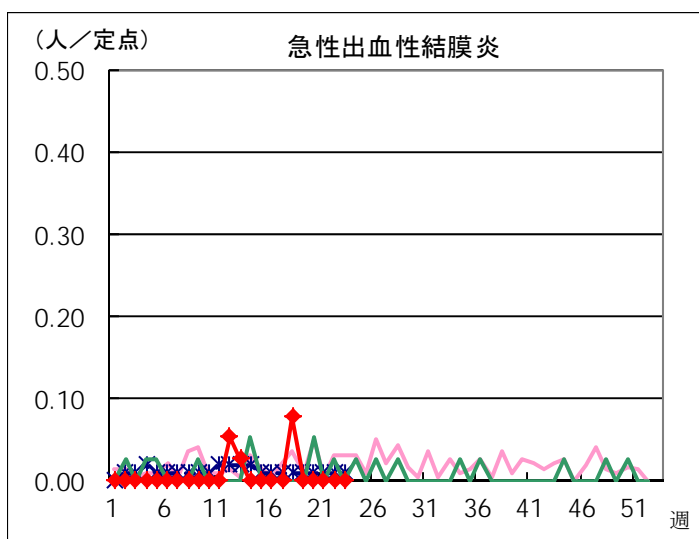


※ 東京都独自対象疾患

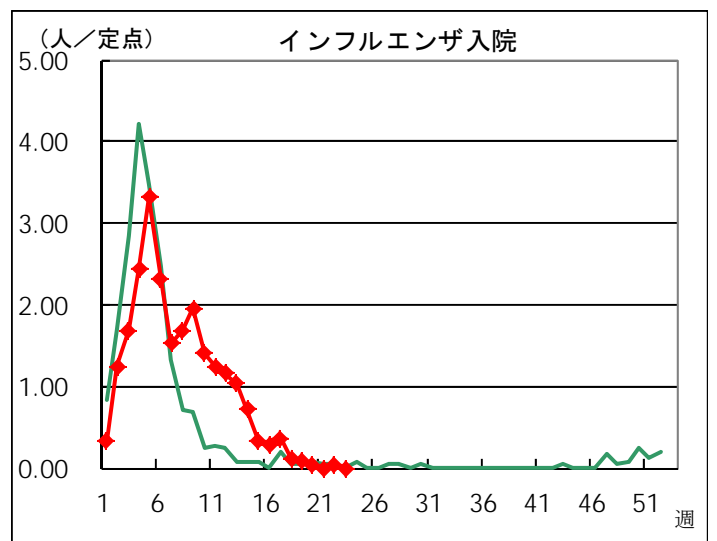
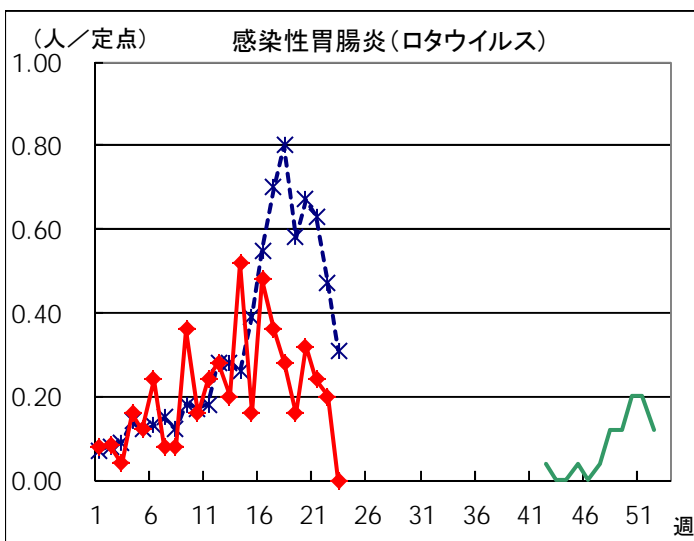
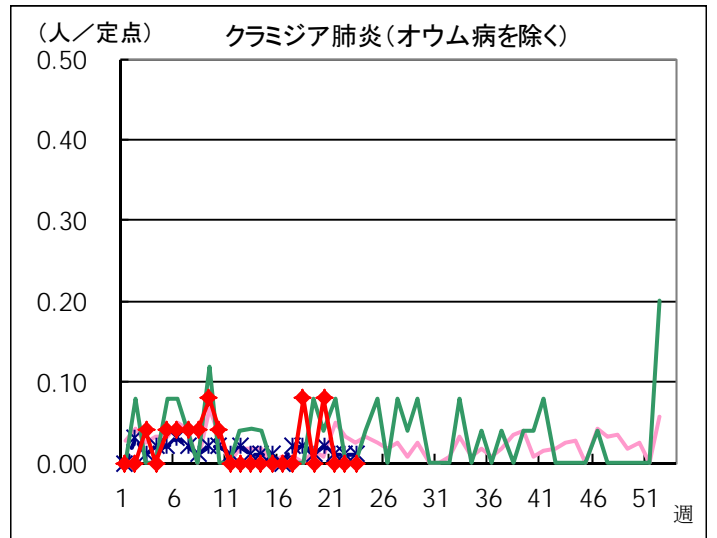
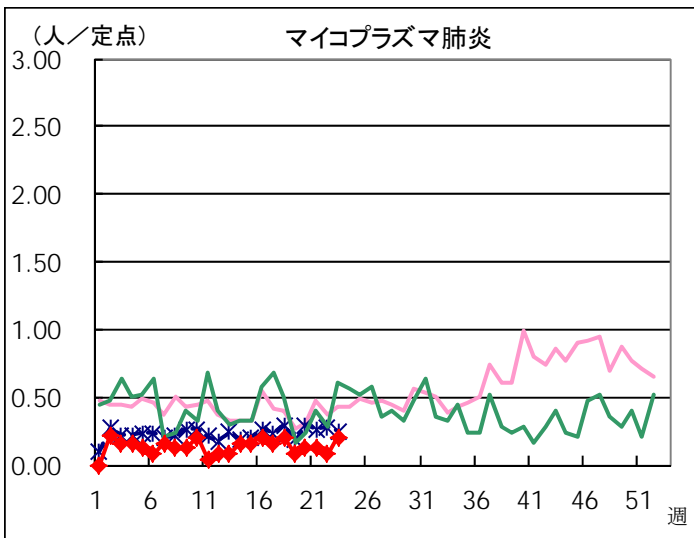
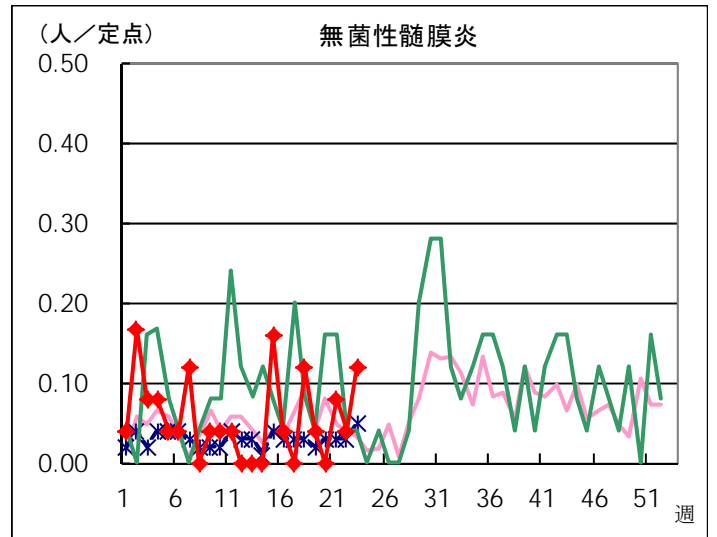
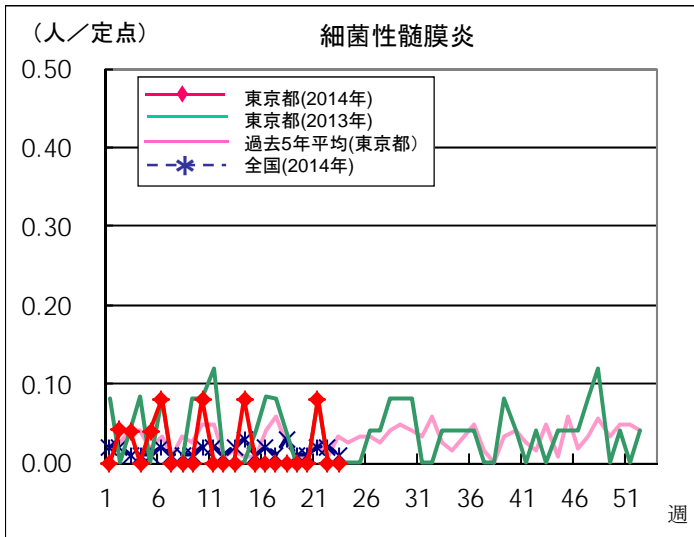
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体
5/28	気管支炎 副鼻腔炎	8M	鼻汁	ライノウイルス
5/23	喘息性気管支炎	8M	咽頭拭い液	ライノウイルス
5/26	急性扁桃炎 頸部リンパ節炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス EBウイルス
5/30	突発性発疹疑い	1	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス7型
5/20	感染性胃腸炎	1	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ
5/27	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
5/26	川崎病	3	咽頭拭い液	ライノウイルス
5/26	突発性発しん	3	咽頭拭い液	アデノウイルス
5/16	急性気管支炎	4	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
5/29	流行性耳下腺炎	5	咽頭拭い液	EBウイルス
5/17	無菌性髄膜炎	11	髄液	ムンプスウイルス
5/26	インフルエンザ疑い	30	咽頭拭い液	アデノウイルス
5/26	ロタウイルス腸炎	記載なし	直腸拭い液	ノロウイルスGⅡ A群ロタウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09* ¹	AH1亜型	AH3亜型	B型
22週				1
2013-2014年 シーズン累計* ²	162		59	186

*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とする。

*2 2013-2014年シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2014年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
アデノウイルス	1	2	4	2	1	3	4	3
ライノウイルス	5	7	10	4	1	5	5	4
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
単純ヘルペスウイルス			1	1		1		
水痘・帯状疱疹ウイルス						1		
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	3		6	4	1	7	4	1
EBウイルス		2	1				4	2
サイトメガロウイルス	1							
ムンプスウイルス						3	1	1
麻疹ウイルス						1		
風疹ウイルス							1	
ヒトパルボウイルスB19	2	1		1		1		
RSウイルス	4							
ノロウイルス		1		1		1		2
ロタウイルス			1					1
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	2			1	1			
インフルエンザウイルスB型	12	7	7	3	2	5	1	1
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1					1		
デングウイルス(抗体を含む)							2	
その他のウイルス	2	3	4	2		2		2
その他の病原体						2		

病原体検出情報【臨床診断名別】

2014年15週～2014年22週

	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他
搬入検体数	51	17	40	32	29	7	5	1	2	6	45	11	2			29
アデノウイルス	1	1	6	3		2	2				2	1				2
ライノウイルス	2	4	14			2		1			10	2				6
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群																
コクサッキーウイルスB群																
エコーウイルス																
エンテロウイルス71																
その他のエンテロウイルス																
単純ヘルペスウイルス					1	1					1					
水痘・帯状疱疹ウイルス													1			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1	1							1		20		1			2
EBウイルス		1					1				1	4				2
サイトメガロウイルス					1											
ムンプスウイルス					1							4				
麻疹ウイルス											1					
風しんウイルス											1					
ヒトパルボウイルスB19										5						
RSウイルス		1	3													
ノロウイルス				5												
ロタウイルス				2												
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	4															
インフルエンザウイルスB型	33	1	2				1				1					
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2															
デングウイルス(抗体を含む)																2
その他のウイルス		3	11	1												
その他の病原体				2												